

案 件	第3回 阪南市地域子育て拠点再構築PT会議
日 時	平成28年12月22日(木) 15:30~
場 所	阪南まもる館 6階研修室
出席者	総務部理事2名 プロジェクトメンバー10名 (欠席2名)
<p>■会議の要旨</p> <p>(PT会議の進め方について)</p> <p>第1回PT会議では、きめ細かい議論も十分出来ず、現場視察となった。また、第2回PT会議でのワークショップの開催については更に議論を重ねる必要があるため、今日は細かい部分も含め改めて、プロジェクトの進め方について共有を図る。</p> <p>資料記載の今後のスケジュールという部分では、幼稚園・保育所・子育て支援センターのあり方検討として、概ね本年度中に、ソフト面・ハード面・財政面から見た現状や課題等の把握・整理、ニーズの把握を行う。新年度に入ると、少し重なるが、具体的な再編を含めた複数の案を作って、議論の上、市民説明を行う。</p> <p>市民参画については、1月広報でワークショップに係る市民委員公募開始のアナウンス、2月にワークショップを開催、2月、3月上旬に4地域で実施の後、地域全体会議は4月中旬までに終える予定。</p> <p>耐震診断については、議会で補正予算が可決されたことから、年明け、業者選定に入り、5~6ヶ月の作業となるので、来年、5月、6月の成果を見ながら議論する。</p> <p>(阪南市地域子育て拠点再構築プロジェクトの進め方について(案)の説明)</p> <p>コンセプトとなる、安全安心、市民参画、持続可能性を踏まえ、公立幼稚園、保育所など地域子育て拠点の再構築の方向性整理としてのハード系の整備。</p> <p>耐震診断結果を見据えた速やかな対応方策検討の準備を進める。老朽化している建物、トイレ、厨房、外壁、防水、遊具。立地要件としては津波、土砂災害、駐車場、周辺環境、住宅密集、交通、送迎について、議論を展開する。</p> <p>ハード系に関連する子育て支援施策整理としてのソフト系については、適正規模の視点から待機児童、幼稚園就園率低下、認定こども園、再編。子育て機能として教育、保育目標、病児、休日、夜間、障がい児、人材確保、小学校との連携、地域・異世代との交流・連携。在宅子育て家庭等への支援として相談、一時預かり、親子交流機会、地域・異世代との交流・連携にかかる議論を行う。</p> <p>旧家電量販店建物の利活用方策を検討する前段として、平成27年度建物購入費にかかる地域再生戦略交付金(内閣府)の条件となる、ア:他省庁の交付金該当なし イ:他省庁の施策との相乗効果高い ウ:先駆性となっており、こうした前提を基に議論を進める。また、ハード系とソフト系にかかるミッションとの整合が必要である。</p> <p>その他として、財政面等から、財源(国交付金等の確保方策、私立優位の国補助制度)、公民の役割、人材交流や不足している人材などを念頭に取り組みを進める。</p>	

(市民参画について)

コンセプトとしては、行政責任のもと、可能な限り市民の参画機会を設置する。平成28年度は現況と課題整理、ニーズ把握、年度明けには具体的な方向性の意見交換を行う。保護者説明会は1月中旬と方向性が出来てから5月中旬に実施予定、併せて支援センターの方でも説明会の実施を予定。ワークショップ(2月～4月)全5回(4地域+全体)で行う。市民説明会も5月から行う予定。保護者アンケートについては、議会からの要請等もあり、実施方法については、様々な手法が考えられるので、十分検討の上、実施する。

(スケジュールについて)

平成29年夏を目途に最終まとめとするが、5月中旬の中間とりまとめの前に、市民ワークショップや保護者説明会等の意見を踏まえつつ、方向性にかかるたたき台となる複数案を整理する。5月中旬にはブラッシュアップした複数案を策定し、その案をもとに8月上旬までには市民との意見交換を終えて、最終案としてまとめる。スピーディかつ丁寧に進めることが大事である。

(方向性のイメージ確認について)

行財政運営の持続可能性を見据えた現実的な再構築案を3～5案程度考察する。一案は7園所を残す。各再構築案のメリット・デメリットをハード・ソフトの観点で整理する。旧家電量販店利活用は再構築案と地域再生計画との整合性を図りながら、国との随時協議を踏まえ可能な限り前倒しで方向性を整理する。

(情報提供について)

阪南市ホームページ掲載イメージ(案)資料内容に示すように、今後、PT会議の議論のポイントを掲載したテキストを貼り付け、併せて、PDF化した会議次第を同時公開する。

第1回PT会議の議事録については、冒頭の市長挨拶をほぼ原文ままとしているが、会議の内容については、以降についても、要約版としたもので公開する。

ワークショップは基本的に公開を原則とするが、参加者個人のプライバシーについては、その保護を優先して開催の調整を行う。

(阪南市地域子育て拠点再構築プロジェクト推進にあつたての整理シートまとめについて)

PTメンバーに作成をお願いしていた阪南市地域子育て拠点再構築プロジェクト推進にあつたての整理シートの集約が整ったことから、事務局から説明を行った。大項目として、1. 暮らしの現実とみらい、2. 子育て環境の現実とみらい、3. 地域とは～「地域」のイメージ、4. 地域子育て拠点(ハード)、5. 地域子育て支援(ソフト)、6. 購入済

の旧家電量販店建物の利活用として、PTメンバーから出されたそれぞれの現状とみらい及び提案をとりまとめ、項目整理し意見交換を行った。

(意見交換の後の確認事項)

至上命令である以上、PTは必ず答えを出さなければならない。

公立幼稚園、公立保育所の役割は何か。基本的に公立は民間ベースに乗りにくい不採算部門を引き受ける傾向が強い。そこを考えた上で、ハード面の解決策とソフト面を突き詰め、大至急やらないと間に合わない。

地域の関わりにおいて高齢者がどこまで関わっているのか、幼保との関わりも見極める。ソフトとハードの専門としてPTを構成しているが、ソフトだけ、ハードだけということではなく、ハードはソフト、ソフトはハードの表裏一体であることを認識する。

以上